



《サーカス(2)》 1977年 愛媛県美術館蔵

生誕100年

古茂田 美津子展

～守介とノスタルジア

2021年11月14日(日)～2022年1月30日(日)

休館日:月・火曜日(祝日は開館)、年末年始12月27日(月)～2022年1月4日(火)

開館時間:午前9:30～午後5:00(入館は午後4:45まで) 入場料:一般600円(前売り400円)、高大生300円、中学生以下無料

65歳以上の方はその証明書等の提示で前売り料金となります。

障がい者の方はその証明書等の提示でご本人と同伴者1名様まで前売り料金となります。

主催:ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)

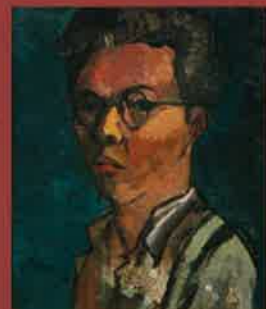
協賛:株式会社ミウラ

協力:愛媛県美術館、町立久万美術館、社会医療法人同会西条中央病院

後援:愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、NHK松山拠点放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、

愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

※新型コロナウイルス感染予防のため、記載内容に変更が生じる場合があります。最新情報は当館HPをご確認ください。



《自画像》 制作年不詳 古茂田守介
夫・古茂田守介の作品も展示いたします



《サーカスのテント》1970年 古茂田美津子 愛媛県美術館蔵



《街の風景I》1971年
古茂田美津子 愛媛県美術館蔵



《静物》1951年 古茂田守介



《アルバム》1993年 古茂田美津子 個人蔵

生誕100年

古茂田美津子展

～守介とノスタルジア

ミウラート・ヴィレッジでは、「生誕100年 古茂田美津子展～守介とノスタルジア」を開催いたします。

古茂田美津子氏(1921-2007)は、幼いころから絵を学び、22歳の時に第13回独立美術展に初入選するなど、画家として順調に歩んでいました。しかし、猪熊弦一郎によって引き合わされた愛媛県出身画家・古茂田守介と結婚し、守介の強い要望により美津子氏は絵筆を置くことになります。夫の画業を約16年間支え続けた美津子氏は、夫の亡くなった後に再び描き始めましたが、当初の作品は守介の絵を彷彿とさせ、それは画家・守介を妻として間近で見てきたからこそ描ける、夫婦の絆のような作品でした。その後美津子氏は、生きる日常に目を向け、家族や毎日の何気ない風景、そして日常の特別な出来事である祭りやサーカスなどを独特の目線で描きました。過ぎ去った日々を懐かしく思い出すと、喜びの記憶の陰には、はつきりとは思い出せないことへの儚さ、寂しさ、怖さなど、様々な感情が潜んでいます。それらの感情をすべて絵に描きとめたかのようなノスタルジックな作品群は、誰をも不思議な世界へと誘います。本展では生誕100年を記念して、美津子氏の作品を一堂に展示し、描くことから離れていた間、ずっと側で見守り続けていた夫・守介の作品も合わせてご紹介いたします。是非、この機会に御覧ください。

ミニ企画①

11月21日(日)より、古茂田美津子氏の長女 古茂田杏子氏に、本展会場内での作品解説、ご両親のお話等を語っていただいた映像を館内でご覧いただけます。

ミニ企画②

版画家でもある杏子氏が、ご両親の様子を赤裸々に描いた作品を展示いたします。

次回展覧会

愛媛大学教育学部美術教育講座 卒業研究展2022

2022年2月6日(日)～2022年2月15日(火)

※新型コロナウイルス感染予防のため、記載内容に変更が生じる場合があります。
最新情報は当館HPをご確認ください。



《冬日》1991年 古茂田美津子 愛媛県美術館蔵



MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL089-978-6838 FAX089-978-0323
<https://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場:30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業
福角駐車場約250台)をご利用いただけます。

アクセス

◆JR松山駅から市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」又は「花見橋バス停」下車 徒歩約15分
◆松山空港から約11km ◆松山I.C.から約16km ◆今治I.C.から約35km